



2025年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

半期報告書提出予定日 2024年10月15日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年3月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	5,242	11.3	479	32.5	508	21.9	322	21.3
2024年2月期中間期	4,708	4.8	361	16.7	417	19.5	265	9.9

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 405百万円 (27.7%) 2024年2月期中間期 317百万円 (4.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	349.16	
2024年2月期中間期	287.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	6,180	3,032	45.5
2024年2月期	5,419	2,744	47.5

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 2,811百万円 2024年2月期 2,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期				125.00	125.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)				125.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,850	1.2	734	1.1	835	1.1	362	0.9	392.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期中間期	953,600 株	2024年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2025年2月期中間期	30,468 株	2024年2月期	30,468 株
期中平均株式数(中間期)	2025年2月期中間期	923,132 株	2024年2月期中間期	923,257 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における国内経済は、雇用環境の改善やインバウンド需要の拡大等により、景気が緩やかに回復しております。

一方で、長期化する原材料価格の高騰や、物流費用等の上昇、円安傾向の為替相場等の影響を受けて、物価が上昇傾向にあるほか、不安定な国際情勢の影響が国内経済に与える影響等、先行き不透明な状況が続いております。

そのような環境の中、当社グループは、リユース事業で、新規出店を支える体制づくり、フードサービス事業で、モスバーガー事業の人材育成、地方創生事業では稼働予定施設の準備に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間は、リユース事業で8月に1店舗（プノンペン）を新規出店しました。フードサービス事業で6月に1店舗（福岡市）、7月に1店舗（松山市）を閉店しました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業105店舗、フードサービス事業27店舗、地方創生事業10施設、合計142店舗となりました。

当中間連結会計期間の業績は、売上高5,242,271千円（対前年同期比11.3%増）、営業利益479,427千円（同32.5%増）、経常利益508,946千円（同21.9%増）、親会社株主に帰属する中間純利益322,325千円（同21.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

（リユース事業）

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移し、店舗運営のスタンダードを実現できる人材育成と新規出店を支える体制づくり、海外供給センター事業では、Mottainai Worldへの視察研修など、人材育成に取り組みました。

この結果、売上高3,859,122千円（対前年同期比14.1%増）、セグメント利益（営業利益）673,174千円（同21.4%増）となりました。

（フードサービス事業）

モスバーガー事業では、店舗改装を行い新しいお客様のニーズに対応できるスペースづくりに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったアルコール類を提供する店舗では客数の回復が顕著であり、これに対応できる体制づくりを行いました。

この結果、売上高1,217,031千円（対前年同期比3.2%増）、セグメント利益（営業利益）91,863千円（同10.3%増）となりました。

（地方創生事業）

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、お客様にご利用頂き易い環境が整い始めましたが、世界的な資源高騰の影響を受け、エネルギーコストが増加しました。また、2024年秋、2025年、2026年の稼働を予定している複数の施設に対し先行投資を行いました。

この結果、売上高166,117千円（対前年同期比12.4%増）、セグメント損失（営業損失）85,587千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）80,622千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて755,606千円増加し、3,229,405千円となりました。現金及び預金が744,785千円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4,672千円増加し、2,950,826千円となりました。有形固定資産が39,738千円増加し、投資その他の資産が33,747千円減少したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて760,279千円増加し、6,180,232千円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて355,904千円増加し、1,337,632千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が357,152千円増加したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて115,902千円増加し、1,809,708千円となりました。長期借入金152,177千円増加したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて471,806千円増加し、3,147,340千円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて288,472千円増加し、3,032,891千円となりました。利益剰余金が206,933千円、為替換算調整勘定が28,887千円それぞれ増加したことが主な要因です。

（3）キャッシュ・フローの状況に関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ744,785千円増加し、1,756,431千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益、非資金項目である減価償却費の計上、行政からの補助金の受取り等により、491,591千円の収入（前中間連結会計期間は483,331千円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、差入保証金の差入による支出、差入保証金の回収による収入、貸付金の回収による収入等により、140,238千円の支出（前中間連結会計期間は252,913千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出、配当金の支払額等により、360,950千円の収入（前中間連結会計期間は22,382千円の支出）となりました。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月12日に公表しました「2024年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当中間連結会計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,011,645	1,756,431
売掛金	138,452	140,338
商品	1,146,655	1,129,768
その他	183,429	204,584
貸倒引当金	△6,384	△1,717
流動資産合計	2,473,798	3,229,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	920,921	920,952
その他（純額）	717,760	757,467
有形固定資産合計	1,638,681	1,678,420
無形固定資産	34,425	33,106
投資その他の資産		
差入保証金	501,479	505,030
その他	782,064	744,658
貸倒引当金	△10,496	△10,388
投資その他の資産合計	1,273,047	1,239,299
固定資産合計	2,946,154	2,950,826
資産合計	5,419,953	6,180,232
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,469	54,818
1年内返済予定の長期借入金	276,648	633,800
未払法人税等	125,133	142,609
その他	512,477	506,404
流動負債合計	981,728	1,337,632
固定負債		
長期借入金	896,043	1,048,220
退職給付に係る負債	26,854	30,138
役員退職慰労引当金	128,329	102,400
資産除去債務	447,195	448,922
関係会社事業損失引当金	4,300	3,300
その他	191,083	176,726
固定負債合計	1,693,805	1,809,708
負債合計	2,675,533	3,147,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,983,511	2,190,445
自己株式	△70,666	△70,666
株主資本合計	2,523,860	2,730,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,960	29,441
為替換算調整勘定	21,991	50,878
その他の包括利益累計額合計	50,951	80,320
非支配株主持分	169,607	221,777
純資産合計	2,744,419	3,032,891
負債純資産合計	5,419,953	6,180,232

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	4,708,131	5,242,271
売上原価	1,641,279	1,800,693
売上総利益	3,066,852	3,441,577
販売費及び一般管理費	2,704,893	2,962,149
営業利益	361,958	479,427
営業外収益		
不動産賃貸料	26,676	25,609
受取負担金	10,102	8,793
補助金収入	26,030	6,667
その他	21,265	19,718
営業外収益合計	84,075	60,788
営業外費用		
不動産賃貸原価	24,660	24,534
その他	3,980	6,735
営業外費用合計	28,641	31,269
経常利益	417,393	508,946
特別利益		
収用補償金	23,861	—
特別利益合計	23,861	—
特別損失		
固定資産除却損	311	—
店舗閉鎖損失	277	568
固定資産圧縮損	12,488	—
特別損失合計	13,077	568
税金等調整前中間純利益	428,177	508,377
法人税、住民税及び事業税	86,427	114,911
法人税等調整額	40,166	28,174
法人税等合計	126,594	143,085
中間純利益	301,582	365,292
非支配株主に帰属する中間純利益	35,838	42,966
親会社株主に帰属する中間純利益	265,744	322,325

（中間連結包括利益計算書）
（中間連結会計期間）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）
中間純利益	301,582	365,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△463	481
為替換算調整勘定	16,341	39,771
その他の包括利益合計	15,877	40,252
中間包括利益	317,460	405,544
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	274,776	351,694
非支配株主に係る中間包括利益	42,684	53,850

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）	当中間連結会計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	428,177	508,377
減価償却費	94,860	105,277
長期前払費用償却額	6,726	6,104
店舗閉鎖損失	277	568
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,342	△4,774
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	669	3,006
関係会社事業損失引当金の増減額（△は減少）	-	△1,000
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,625	△25,929
契約負債の増減額（△は減少）	△2,737	△2,653
受取利息及び受取配当金	△2,304	△3,117
支払利息	3,711	5,892
受取負担金	△10,102	△8,793
収用補償金	△23,861	-
有形固定資産除却損	311	-
固定資産圧縮損	12,488	-
売上債権の増減額（△は増加）	2,634	△1,632
棚卸資産の増減額（△は増加）	△64,593	21,902
仕入債務の増減額（△は減少）	5,233	△17,066
その他	8,900	59,500
小計	464,673	645,661
利息及び配当金の受取額	2,304	3,117
受取負担金の受取額	90,000	-
受取負担金の返戻額	△16,000	△50,000
収用補償金の受取額	7,200	-
保険金の受取額	63,471	-
利息の支払額	△3,760	△5,753
災害損失の支払額	△2,777	-
店舗閉鎖損失の支払額	△11,346	△568
法人税等の支払額	△110,433	△100,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,331	491,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△178,252	△131,198
資産除去債務の履行による支出	△29,843	△4,006
無形固定資産の取得による支出	-	△442
投資有価証券の取得による支出	△48,607	△1,659
長期前払費用の取得による支出	△1,169	△5,798
差入保証金の差入による支出	△16,991	△11,337
差入保証金の回収による収入	20,159	10,166
貸付けによる支出	△2,000	-
貸付金の回収による収入	3,790	4,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252,913	△140,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	270,000	670,000
長期借入金の返済による支出	△163,514	△160,671
リース債務の返済による支出	△27,175	△31,342
自己株式の取得による支出	△191	-
配当金の支払額	△101,502	△117,035
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,382	360,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,854	32,481
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	228,889	744,785
現金及び現金同等物の期首残高	862,341	1,011,645
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,091,230	1,756,431

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年3月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,380,756	1,179,620	147,754	4,708,131	-	4,708,131
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,380,756	1,179,620	147,754	4,708,131	-	4,708,131
セグメント利益又は損失 (△)	554,484	83,262	△80,622	557,124	△195,165	361,958

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2024年3月1日 至 2024年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,859,122	1,217,031	166,117	5,242,271	-	5,242,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,859,122	1,217,031	166,117	5,242,271	-	5,242,271
セグメント利益又は損失 (△)	673,174	91,863	△85,587	679,449	△200,022	479,427

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。